

ライフの学校新聞

Vol.1

2022年
夏
なつごう 号

夏の嫁入りの庭

夏の仲間たち

ブルーベリー、ダリア
マリーゴールド
ブルーサルビア
ラベンダー、ミント、
セダムなど



ハーブや木の葉も
みつけてくださいね!

2年前の2020年夏、ライフの学校萩の風キャンパスに「嫁入りの庭」がオープンしました。コロナ禍で地域みなさんに説明する機会をつくれずにおりましたが、いつでも誰でもご利用いただける庭です。

ハーブをつんでもOK。犬の散歩の通り道に、散歩中のひと休みにぜひご利用ください。

庭の北側には
ヤギのメイちゃん(左)
ユキちゃん(右)も。



文：田中伸弥

先輩レシピ!

久子さんのお稲荷さん



あま ひか とくだい
甘さ控えめ、特大のお稲荷。
あ ぜんじつ あぶらぬ あじ
「お揚げは前日から油抜きして味を染み込ませるの」と久子さん。

- ①油揚げ(お豆腐屋の手揚げがよい)を切って、砂糖・しょうゆ・みりん汁気がなくなるまで煮込む
- ②余分な汁気を切って冷蔵庫で冷やす
- ③少し硬めに炊いたご飯に「すしのこ」を混ぜて味を整える
- ④皮にパンパンに詰める

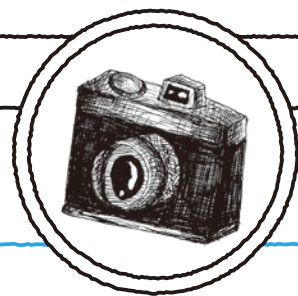
文：村松直美

ふっちゃんの日々

だ が し や
駄菓子屋でみんなに可愛がられながら、のんびりと過ごすふっちゃん。岩手県の山中で保護された雄猫です。最初はわんぱくで、そこらじゅう噛んだりひっかいたりしていたふっちゃんも、いまや3歳になり体重も5kg超え。すっかり落ち着いてご飯を楽しむに暮らしています。



文：三津谷涼



菅野 さき さんの一枚

1981年11月4日、仙台の自宅前にて

2021年に100歳のお誕生日を迎えた、
大正生まれの菅野さきさん。

おだやかでいつも笑顔が耐えないさきさんは、
どのような人生を送ってきたのでしょうか？

大正、昭和、平成、令和。
4つの時代を駆け抜けた
百姓人生

百姓の家に生まれて

わたしは、生まれも育ちも案内(東仙台的古い地名)。6人きょうだいの長女で、家族みんないいひとだったんだ。お父さんとお母さんもいいひとだったよ。稼ぐ一方だったの二人とも。別家(分家)で貧乏で、どん百姓やってたんだ、田んぼとか畑とか。学校は6、7年しかいかなかった。20歳くらいに結婚してからも百姓やって。田んぼさ行くので1時間かかってたんだよ。裸足で歩いてたんだよ、梅田川の通り。車なんてないし、ずーっと歩いてたんだ。それで1日外にいたの。遅くなると「みんな、ご飯だから来いー」ってよんでくれてさ、お姑さんがいいひとだったんだ。

「もったいない！」とはじめた自転車練習

結婚してからね、自転車も乗ってたよ。自分で買ったんじゃないくて、ご祝儀かなんかでもらったの。誰も乗る人いないからしばらく飾ってたんだ。でも飾ってるだけは「もったいない」と思って、夜に一人で筋向かいの中学校さ行って、校庭で覚えたの。本当は車の免許も取ろうかなと思ってたけども、結局自転車だけ。親に「車の運転はやめろ。女がするこっちゃねえ」って言われて。年取るまで乗ってたよ。

畑仕事の合間の楽しみ

団体でよく旅行にも行ったんだ。町内会、農協、婦人会なの。なんなので、たくさん行ったよ。誘われたら行くんだ。それから編み物もよくしたよ。習ったわけじゃないんだけどミシン掛けも好き。ワンピースとかズボンを縫って、娘さやっただ。お茶飲みばんつあん(おばあちゃん)がうちさ来ると「よくするなあ、おらい(自分の家)の嫁ごなんかしねえよ」って言われて。『婦人倶楽部』(雑誌)のふろくについてきた型紙で、見てやってたんだ。全部一人で覚えたんだよ。



60歳の頃の菅野さきさん。



菅野さきさん

1921年11月28日に東仙台にて6人兄弟の長女として生まれました。「わかんね！ 頭くるくるパーだから」はさきさんの口癖ですがとてもパワフル。日課の塗り絵に取り組み、スタッフが声をかけるといつでもニコニコと手を握ってくれるさきさん。長期入居の間もたくさんの方がさきさんに会いに来ていて、お人柄を感じます。



聞き手・文：遠藤悠美



このまち インタビュー Vol.01

すが わら あつ と

菅原篤人さん

社会福祉法人ライフの学校 常務理事
萩の風キャンパス施設長

お仕事のなかで、どんなことを大事にしていますか？

パートナー（利用者さん）一人ひとりときちんと向き合うこと、途中で投げ出さないこととです。たくさんのひととかかわる仕事なので、一緒に課題と向き合い整理し、昨日より今日がパートナーにとってよい生活となることを目指し、自ら積極的にかわるようになっています。ライフの学校は、スタッフ一人ひとりの強みをいかして仕事をできるので、自分が大事にしていることを実現できる場だと感じています。

菅原さんにとって、福祉という仕事の原点はどこにあるのでしょうか？

わたしは両親が忙しかったこともあり、曾祖母がよく面倒をみてくれたので、ひいおばあちゃん子だったんです。それから目が不自由な祖母と一緒に暮らしていた経験も大きいです。時代的に、障害があっても家族で解決しなくてはと考えてしまい周囲に助けを求めにくい状況でした。「助けて」という声を拾いたいと思う原点は、そこにあるのかもしれません。

このまちでお気に入りの場所はどこですか？

ライフの学校の萩の風キャンパスにある、景色が360度見渡せる屋上です。ここからまちを見ながら「このなかに誰にも悩みを打ち明けられず困っているひとがいるかもしれない」と考えることも。ライフの学校では一人の「助けて」からスタートする事業も多いんです。例えば元受刑者の方の住む場所が見つからずはじめたのが居住支援事業。就労支援事業がスタートしたのも同じような理由です。誰かの困ったことをどうにかしたい、と考えるうちに新しいことがはじまっていますね。

2003年、大学卒業後に介護老人保健施設に就職。同施設で介護職員、ケアマネジャー、支援相談員等を得て2014年に萩の風に入職。2019年より現職。介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士。宮城県栗原市出身。三姉妹の父。趣味は映画鑑賞。

聞き手・文：佐藤恵美

みんなのおたより

ライフの学校のみなさんへ

初めまして。私は、ここに通っている小池唯と言います。ライフの学校では、勉強したり、遊んだり、時にはけんかしたりするけど、とても楽しい場所です！ぜひとも見に行ける人は、見に来てみてください！すごーく良い意味で、うるさーいですよ！よろしくです！



「ライフの学校のみんなに手紙を書きたい」。学習支援教室に通う小池唯さんからお手紙が届きました。

ここで何する？ 会議

ライフの学校でやりたいことや使い方を一緒に考えてみませんか？ 屋上の隣にある誰でも使える図書館でスタッフがやりたいことを考えました。

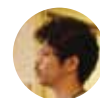
自分のこどもの頃に比べるといまは悩みを話す機会が少ないと感じます。家族や友だちには言いにくい悩みでもわたしたちなりにお答えしたい。「話し相手がほしい」も大歓迎！（ケアスタッフ）



図書館で何をする？

さまざまな個性を持ったパートナーやスタッフの、絵や写真、お花などを展示し、アートを身近に感じる機会があればおもしろいと思います。

（介護支援専門員）



文：菅原涼蔵
三上彩香

ライフの学校とは



福祉施設を地域にひらき、さまざまなひとが集う「学びあいの拠点」にしている社会福祉法人です。現在は、萩の風キャンパスのほかに沖野・上飯田・幸町の全部で4つのキャンパスと畑があり、高齢者福祉、障害者福祉を中心にさまざまなプロジェクトを行っています。



社会福祉法人
ライフの学校
https://gakkou.life

萩の風キャンパス 仙台市若林区上飯田字天神1-1

【利用案内】 ※どなたでも利用できます

嫁入りの庭 入居するパートナーと一緒にかつての嫁入り道具のようにやってきた家具や植木のある庭。ベンチには電源も。出入り自由。

24時間365日(年中無休)

ライフの図書館 福祉や地域の図書が並び、自習室としても利用できます。

時間＝9:00-18:00(金曜は15:30まで)

駄菓子屋「かみふうせん」 看板猫のふたもお待ちしております。

時間＝10:00-16:00(年中無休)

こども食堂「おかえり」 嫁入りの庭でとれた野菜も使用した料理は好評！

日時＝第3土曜、12:00-14:00

その他のイベント ウェブサイトでご確認ください。

おしらせ

かすみのめ 霞目キャンパスが来春オープン！

2023年4月にシェアハウス(職員宿舎)とカフェ(就労継続支援センター)が霞目の浪分神社の向かい側にオープン予定です。当キャンパスが、認知症や障害のあるひと、外国人、地域に住むひとそれぞれの居場所となり、「ともに生きる」風景が地域に溶け込むことで、多様性が育まれる拠点にしたいと思います。インドネシアからの技能実習生も入居します。



霞目キャンパス完成予想(設計:トミター・キテックチャ)

ろくごう 六郷キャンパスが2023年度オープン！

地域密着型特別養護老人ホーム、看護小規模多機能型居宅介護、事業所内保育といった多機能の複合型キャンパスが今泉門暮にオープン予定です。「川戸(カド)」と呼ばれる水洗い場が多くみられる六郷地域。現在のこうした地域の歴史を現代にいかす設計計画を進めています。「高齢入所(特養)」「高齢在宅(看多機)」「幼児(保育事業)」「障害(多機能型事業)」の機能をあわせもち、地域の方々がかわることで多世代が交差する場となります。

編集後記

毎日暑い
ですね。わたしは
こどもたちと夏を満喫中。
夏号オススメは「みんなのおたより」。学習支援教室に通う子からの思わぬうれしい言葉がきっかけです。
ぜひ一読を！
むらまつ 村松

夏号、どう
でしたか？ わたしも
お稲荷さん、つくってみます！
そして今回のイラストや手書き文字は就労支援センターで働くみなさんにもご協力いただき
素敵に仕上がりました！
次号もお楽しみに！
もり 守

お読み
いただきありがとうございます
ございました！ 暑い日が
続きますので、健康第一に
まいりましょう！ うがい！
手洗い！ プロテイン！
それではまた次回！！
さとう 佐藤(わ)

『ライフの
学校新聞』の記念
すべき創刊号。お楽しみ
いただけたでしょうか。ふと手に
取ったときに、ちょっと楽しめる。
そんな新聞にしていきたいです。
これからよろしく
お願いします。
みつや 三津谷